

第3回国連防災世界会議(成果)

採択された成果文書

■ 仙台防災枠組2015-2030(兵庫行動枠組の後継枠組)

- ✓ 防災の行動指針として、期待される成果と目標、指導原則、優先行動、関係者の役割や国際協力を規定。
- ✓ 事前の防災投資、「より良い復興(Build Back Better)」, 人間中心のアプローチ、女性のリーダーシップの重要性等、日本が重視する点が盛り込まれた。先進国と途上国で対立があった点についてもバランスがとれたものとなった。

■ 仙台宣言

- ✓ 各国の防災に対する政治的コミットメントを表明。会議開催と防災の推進に関し、日本への謝意を表明。

日本としてのメッセージ

① 様々な政策への防災の視点の導入(防災の主流化)

- ✓ ポスト2015年開発アジェンダに防災を位置づけるなど、防災を国際協力の重要課題とする。
- ✓ 各国の様々な国内政策で防災の視点を導入するための協力を表明。

② 防災に関する日本の知見・技術の発信

- ✓ 多くの災害の経験から得られた知見・技術を国際社会に発信。
(周辺会場においてパブリック・フォーラムも数多く実施。)

③ 東日本大震災からの復興の発信と被災地の振興

- ✓ 被災地・仙台で開催し、震災への支援への謝意、復興の現状を発信。
- ✓ 食事会・レセプションで被災地食材活用、周辺被災地へのスタディツアー実施等。

■ 仙台防災協力 イニシアティブ

- ✓ 防災協力の基本方針
- ✓ 今後4年間で
 - 40億ドルの資金協力
 - 4万人の人材育成
のコミットメント